

(様式5)

平成30年度 自己評価

岐阜県関市立関商工高等学校

学校番号 63

I 自己評価

1 学校教育目標	「至誠明朗」の校訓を体し、知・徳・体の調和のとれた創造的・人間性豊かな実践力のある地域社会人の育成を図る。																										
2 評価する領域・分野	工業専門部																										
3 現状・生徒及び保護者等を対象とするアンケートの結果分析等	社会のルールにふさわしい服装、髪型や基本的なモラルやマナーという点で高評価であり、それが学習環境を良くしていると思われる。だからこそ、熱心に学習指導・生徒指導などに取り組んでいる先生が多いという評価や、課題研究の内容が自分にとって有意義という評価につながっている。																										
4 今年度の具体的かつ明確な重点目標	(1) 工業科出願者数の定員を確保する。 (2) 国家資格等の高度資格取得に取り組む生徒の伸長を図る。 (3) 中学生や地域に工業教育の理解を図る広報活動の展開を図る。 (4) 自ら学ぶ意欲と態度を育む工業科活動の推進を図る。																										
5 重点目標を達成するための校内組織体制	・工業科広報委員会・課題研究委員会・資格取得推進委員会 ・専門教育委員会・Seki Shoko company 組織委員会																										
6 目標達成のための具体的な取組	7 達成度の判断・判定基準あるいは指標																										
(1) 中学校訪問、パンフレットリニューアル (2) 国家資格取得の計画的試験対策 (3) 中学生や地域への広報活動の展開 (4) 自ら学ぶ意欲・態度を育む工業科活動の推進	(1) 工業科への出願者数 (2) 国家資格取得者数 (3) 工業科への出願者数 (4) ものづくりコンテスト、各種大会等成績																										
8 取組状況・実践内容等	9 評価視点	10 評価																									
(1) パンフ、総合案内ブック作成、中学校訪問 (2) 前期技能検定六職種を受験 (3) ものづくり広場、たのしみん祭、PR フェア (4) 共同学習 (5) ものづくりコンテスト (6) 各科部活動大会出場、地域貢献	(1) 工業各科の認知度、評価 (2) 前期国家技能検定合格率、評価 (3) 動員数および興味・関心度 (4) 共同学習における学習効果 (5) 成績、総合評価 (6) 成績、地域の評価	<table border="1"> <tr><td>A</td><td>(B)</td><td>C</td><td>D</td></tr> <tr><td>(A)</td><td>B</td><td>C</td><td>D</td></tr> <tr><td>(A)</td><td>B</td><td>C</td><td>D</td></tr> <tr><td>(A)</td><td>B</td><td>C</td><td>D</td></tr> <tr><td>(A)</td><td>B</td><td>C</td><td>D</td></tr> <tr><td>(A)</td><td>B</td><td>C</td><td>D</td></tr> </table>		A	(B)	C	D	(A)	B	C	D	(A)	B	C	D	(A)	B	C	D	(A)	B	C	D	(A)	B	C	D
A	(B)	C	D																								
(A)	B	C	D																								
(A)	B	C	D																								
(A)	B	C	D																								
(A)	B	C	D																								
(A)	B	C	D																								
11 成果・課題	○工業科広報資料作成 工業科パンフレット、工業科ニュース、アーカイブス ○前期技能検定 85 名合格 職業能力開発協会長賞 1 名 ○関市との連携で様々な行事に参加した。 ○関特別支援学校共同学習 建設工学科 藍染め ○地域貢献 関商工ぽっぽ、関市刃物まつり・製作体験、イルミネーション ○各科部活動の活躍 ものづくりコンテストメカトロニクス部門 2 位・旋盤作業部門 3 位、コンクリートカヌー決勝進出、Econo Power in Gifu 優勝 ●サテライトキャンパスの活用、ホームページの有効利用		総合評価 (A) B C D																								
12 来年度に向けての改善方策案	・HPを活用し、工業科ニュースにより、地域や小・中学生に工業科の内容がよくわかる広報をする。 ・ICTを積極的に使用し、指導方法や生徒の学習形態の工夫を更に図る。 ・サテライトキャンパスの組織的、計画的な進行、展開を図る。																										

II 学校関係者評価

実施年月日 平成31年1月23日

<p>【意見・要望・評価等】</p> <p>・商業科・工業科が協力して地域社会や他の学校との連携をしていることはとても良いことだと思う。この地域は大学、特別支援学校、小中学校など存在する特殊な地域である。この利点を生かし、文化祭だけでなく部活動や授業等更に連携を深めていただきたい。</p>
